

い。また、虐待を受けている高齢者のうち、約7割が要介護認定を受けており、認知症である者（要介護認定者における認知症日常生活自立度「Ⅱ以上」の者）が、被虐待高齢者全体の69.3%を占めた。また、虐待の加害者は、「息子」が40.7%と最も多く、次いで、「夫」17.5%、「娘」16.5%となっている（図1-2-6-10）。

(4) 高齢者による犯罪

高齢者の刑法犯の検挙人員は、平成23（2011）年は48,621人と前年に比べほぼ横ばいであったものの、13（2001）年と比較すると、検挙人員では約2.4倍、犯罪者率では約2倍となっている。また、23年における高齢者の刑法犯検挙人員の包括罪種別構成比をみると、窃盗犯が72.9%と7割を超えている（図1-2-6-11）。

(5) 高齢者の日常生活

ア 生きがいを感じている人は約8割

60歳以上の高齢者が生きがいをどの程度感

じているかについて見てみると、「十分に感じている」人と「多少感じている」人の合計は約8割に達している。男女別にみると、女性（83.2%）に比べて男性（79.8%）が低くなっている（図1-2-6-12）。

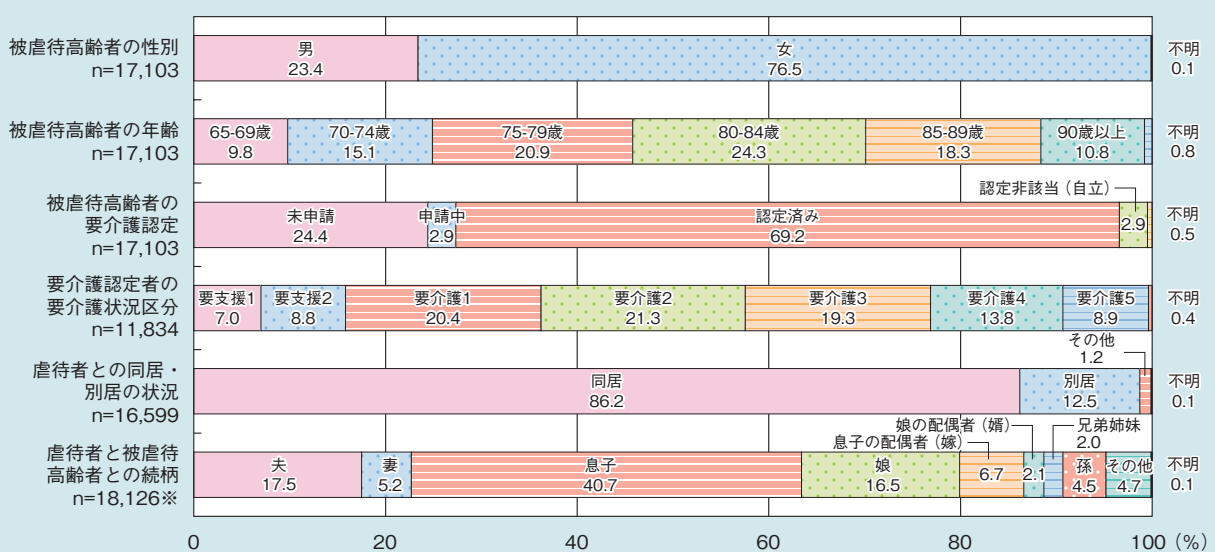
イ 今後、毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたい人が増加

内閣府「国民生活に関する世論調査」（平成24（2012）年）によると、今後の生活で「貯蓄や投資など将来に備える」ことよりも「毎日の生活を充実させて楽しむ」ことに力を入れたい人の割合は、60～69歳は79.7%、70歳以上は82.4%であり、50～59歳では約6割、49歳以下の各層では4割前後であるのに対して、60歳以上の各層の割合は非常に高い（図1-2-6-13）。

ウ 一人暮らしの男性に、人との交流が少ない人や頼れる人がいない人が多い

60歳以上の高齢者の会話の頻度（電話やE

図1-2-6-10 養護者による虐待を受けている高齢者の属性



資料：厚生労働省「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応状況等に関する調査結果」（平成23年度）
※1件の事例に対し虐待者が複数の場合があるため、虐待判断事例件数と虐待人数は異なる。